

平成 2 6 年度学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島水産高等学校

評価実施日	平成 2 7 年 2 月 2 4 日 (火)
評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>ア 家庭学習時間については、昨年度と比べると僅かではあるが増えているのは、日頃の学習の大切さを根気強く指導した成果である。今後も目標達成に向けて指導の充実をお願いしたい。また、これからの社会、英語の必要性についても指導していただきたい。</p> <p>イ 英単語テストで目標を1回も達成でき無かったのは残念である。漢字テスト、計算力テストも達成回数が少なくなっている。せつかく時間をとって実施しているので、成果が上がるような指導をお願いしたい。</p> <p>ウ 授業における発問については、工夫されており生徒全員が自分の言葉で発表し、授業に参加しているという思いを更に深化させて欲しい。</p> <p>エ 学力の二極化が進んでいると思われる。辞書を引くこと、手で書いて覚えることが大切である。</p> <p>オ 読書については、小説だけではなく生徒が興味があるものを幅広く選択させたほうが効果上がるのではないか。</p> <p>(2) 生徒指導</p> <p>ア 放課後に宇和島駅近く(住友生命ビルの空きスペース)での喫煙を目にする(黒い制服)。ゴミが散らかっているときもある。注意出来ないときもあり、何らかの対策が必要ではないか。</p> <p>イ 生徒指導に関しての教員の自己評価が低いが、2・3学期に問題行動が無い等、効果は上がっているのではないか。今後も、基本的な生活習慣を身に付けさせる指導、規範意識の向上の充実を努めて欲しい。</p> <p>(3) 進路指導</p> <p>ア 学力が高いとは言えない生徒を3年間を通して育て上げ、100%の就職率、進学率を達成されているのは素晴らしい。今後も生徒一人一人と向き合い、地道は指導をお願いしたい。</p> <p>2 説明・公表について</p> <p>(1) 各種だよりにより家庭へのお願いや学校の活動を理解してもらうのは良いことである。ホームページやブログの閲覧の%も上がっている。今後も情報提供に努めていただきたい。</p> <p>3 学校運営への意見・提言</p> <p>(1) 保護者アンケートの「教員は保護者からの問合せに対して新設に対応しているか」の質問に対し、多くの保護者が「はい」と答えている。学校が保護者との信頼関係を築く努力をされていることが伺える。学校・家庭・地域で生徒を育てる視点をこれからも大切にしていきたい。</p> <p>(2) 海洋技術科の遠洋航海実習は、生徒にとって良い思い出にもなり、貴重な経験として自分自身の成長につながる素晴らしいものである。今後も続けて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の学習、各種テストについては進路との関連付けを更に深め、資格の取得と併せて時間をかけて指導していく。 ・発問だけでなく、科目「課題研究」や「総合実習」等において生徒一人ひとりが発表(プレゼンテーション)する機会を持ち、表現力や思考力を身に付けさせていきたい。 ・スマホの使用の仕方や書いて学ぶことの大切さも指導していきたい。 ・読書は、学年が上がるにつれて読まなくなる生徒が増える状況を変えるためにも、全クラスで足並みをそろえた朝読書を実施する。 ・本の選定については、専門高校、教育的視点に立ちつつ生徒の自主性を尊重したい。本の内容について、ショートホームルーム等を利用して話し合う時間を持つことも検討したい。 ・宇和島地区の生徒指導連絡協議会で検討し、巡視等を行う等の対応策をとりたい。 ・満足することなく、社会において正しい行いができる大人に慣れるように厳しい目で生徒指導に努めていきたい。 ・早い時期からの進路指導、日々の学校生活が線となり、目標の達成につながることを理解させ、学校全体で進路指導の充実を図って行きたい。 ・学校の活動について理解を深めてもらうためにホームページやブログの充実を努めるとともに、オープンな風通しの良い学校作りに取り組んで行きたい。 ・学校、家庭が車の両輪として機能するように連携を図って行きたい。また、地域あつての本校であるという意識を持って学校運営を行って行きたい。 ・近年、水産高校は厳しい現実があり、また、アメリカを中心として保安や環境保護の観点から厳しいルールが設けられるようになっているが、遠洋航海実習は海洋技術科の教育の大きな柱であるので、安全で充実した実習が出来るように努力していきま。